

愛媛大学開学 70 周年記念

愛媛大学ミュージアム開館 10 周年記念

愛媛大学俳句・書文化研究センター発足記念

愛媛

俳人の書展
(一)

晝寝覚む
甘酒売乃
今や来ん
為山の書



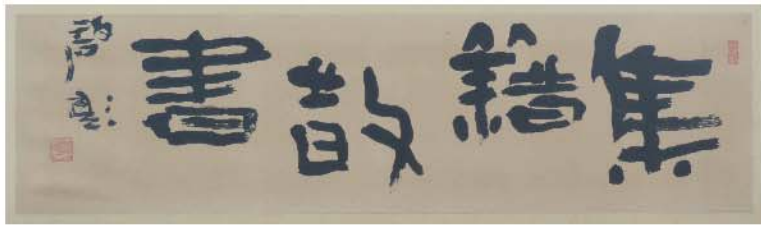
晝寝覚む甘酒売りの今や来ん 為山句画

会期 令和2年1月29日(水)~令和2年4月27日(月) ※毎週火曜日は休館

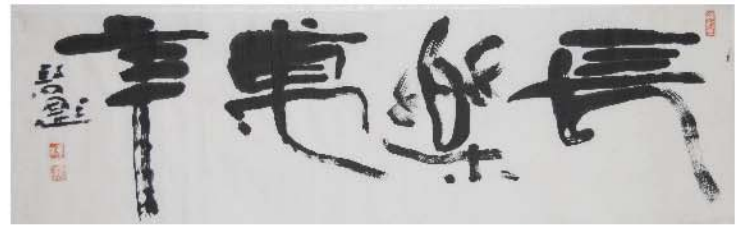
会場 愛媛大学ミュージアム (松山市文京町 愛媛大学内)

Web <https://www.ehime-u.ac.jp/overview/facilities/museum/>





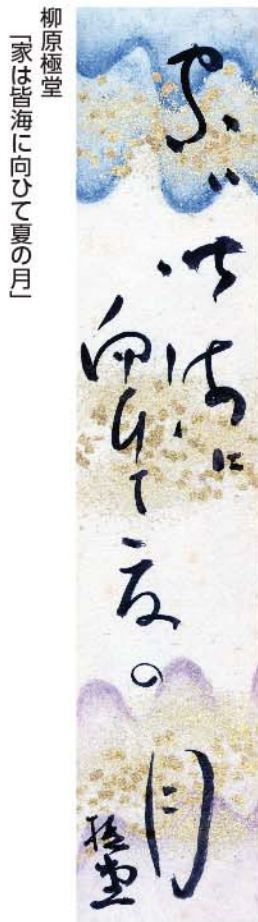
河東碧梧桐 「集籍散書」



河東碧梧桐 「長楽萬年」



高浜虚子
「野を焼きてかへれば灯火妻やさし」



柳原極堂
「家は皆海に向ひて夏の月」



村上壺天子
「炬燵人二度の時雨を知らざりけり」



石田波郷
「万緑を顧みるべし山毛櫨(ふな)峠」



栗田樽堂
「秋風や鏡の翁我を見る」



河東碧梧桐 「洞雲居」

令和の改元の年、愛媛大学は開学70周年を、愛媛大学ミュージアムは開館10周年を迎えます。また、新たに俳句・書文化研究センターが発足しました。これを記念して、愛媛にゆかりのある俳人の肉筆書を集め「愛媛 俳人の書展(1)」を開催することとなりました。扁額、軸装、短冊など30点を展示致します。百花繚乱の作品をお楽しみください。